

講演タイトル: 金属(II)- salen 錯体の酸化体の  
性質と反応性

茨城大学  
理学部理学科化学コース  
島崎 優一 先生



日時: 6月20日 (水) 15:15~16:30

場所: 自然系学系棟B215

講演概要:

金属錯体を用いた酸化反応は無機・錯体化学をはじめ、有機化学や生物化学等の分野で多くの反応が報告されてきており、その重要性が広く知られてきている。しかしながらそれらの反応機構、とくに触媒として用いられている金属錯体の酸化数などの詳細については難解であることが多い。近年、金属錯体の酸化還元反応において「金属錯体の形式的な酸化数」と「金属錯体の実際の酸化数」が異なる化合物について報告され、反応機構等の理解をさらに難しくしている。本講演では、各種salen錯体を用いても、「同じ」金属錯体の形式的な酸化数」でありながら、「実際の酸化数」が異なる例を紹介し、それらの性質、反応性の違いについて考える。

本講演会は**先端無機化学特論**の一部です。履修予定者は必ず聴講して下さい。

連絡先: 小島隆彦 (内線4323)